

令和 7 年度入学試験問題（後期日程）

小 論 文

理学部 海洋自然科学科 生物系

注 意 事 項

1. 受験番号を解答用紙の所定の場所に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、120 分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

1

少子化の続く日本では 15 歳未満の子供の数に比べ、ペットの数のほうが多くなっている（令和 5 年度総務省統計）。ペットとして動物を飼うことは、命の大切さを学ぶ機会が得られ、愛情を育むことができるなど、子どもたちの情操教育面で良い影響があると言われている。しかし、さまざまな事情で飼い続けられなくなったペットを安易に野外に放ってしまうこと（動物の遺棄）は、動物の愛護および管理に関する法律により禁じられているだけでなく、希少な固有生物の生存を脅かし、生態系をかく乱する恐れがある。小学校 3 年生の A さんはタマという猫を飼っている。親の転勤のため引っ越しをすることになったが、転居先では猫を飼うことができない。そのため、両親からタマを保健所に引き取ってもらうことを勧められた。タマが可哀想に思った A さんは、両親に内緒でタマを自然豊かな森に放とうと考えている。子ども達のような法律や生物学を知らない人に対して、あなたはどのようにして動物の遺棄を思いとどまらせることができるか、A さんの気持ちに配慮した「A さんへの手紙」を 300 字以上 500 字以内で書きなさい。なお、宛名や時節の挨拶等を含めない本文のみとする。

2

近年、ChatGPT をはじめとする生成 AI（Artificial Intelligence, 人工知能）の技術が急速に発展し、その応用範囲は広がり続けている。これに伴い、AI は科学技術や生物学など多岐にわたる分野で新たな可能性を生み出している。AI が科学的発見や生物学的研究にどのように役立つか、また、その影響がもたらす未来について、ポジティブな影響とネガティブな影響の両方を考慮し、あなたの考えを 300 字以上 500 字以内で述べなさい。

令和7年度入学試験問題（後期日程）

小論文

理学部 海洋自然科学科 生物系

出題の意図

理学部海洋自然科学科生物系では、「多様な生命現象と生物を取り巻く自然環境に興味を持ち、深く学びたいという意欲のある人」、「自らの目標に向かって主体的に物事を考え、積極的に行動できる人」、「生物学を学ぶために必要な基礎知識を備えている人」を求めている。これに関連し、問1では、生物多様性の維持および自然保護と人間活動との関わりについて、生物学的な視点からの課題解決法を論理的に組立てる能力および表現力を問う。問2では、近年のAIテクノロジーと生物学との関わりについて、与えられた課題に対して主体的に考え、論理的に説明する能力を問う。